

## 医学部人事考課制度の開始について

今年度4月からの医学部機構改革の一環として、人事考課制度を導入することが昨年度の教授会・教員会議において決定しております。

この制度は、5年一期として、個人目標を設定し、3年目には中間評価、5年後には最終評価を決定し、達成度を評価する制度です。

制度の開始に当たりまして、まずは1次考課者と面談を実施し、目標シートをご提出いただきたく思います。

本学は「自然・生命・人間」という建学の精神を礎に、これまで努めてきたように、人に求められ、信頼され、感謝される医師、即ち、社会に大いに貢献し、世界に雄飛する「より良き臨床医」を育成、輩出するという使命を果たしていかなければなりません。この使命を果たしていくためには、教育・研究・診療等についての業績評価と自己点検評価を踏まえて、教員が熱意と意欲と自覚を持って生き生きと職務を全うすることが求められます。さらには、医学の進展に寄与すると同時に、先ずは教職員が、そして在校生や卒業生が誇れる母校の確立と地域の医療・保健・福祉、ひいては社会の未来に大きく貢献すべく邁進しなければなりません。

東邦大学医学部医学科が未来永劫力強く生き残ることを目指し、また、教職員一人一人が将来への夢と希望と誇りを携え、充実感や達成感を実感できる人事考課制度にしていきたい所存でございます。

医学部長 高松 研  
業績評価委員長 川合 眞一